

令和5年度 事業者向け 児童発達支援 自己評価表の公表			《集計表》	
	チェック項目	取組状況・改善目標	はい	いいえ
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	設備基準は満たしているが、利用人数や活動量によっては狭く感じられることもある	8	1
	② 指導員の配置数は適切であるか	令和6年2月現在、自発官1名・保育士4名・児童指導員1名・支援員4名在籍。配置人数はクリアできている。	9	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	下駄箱・手洗い・荷物置き場など視覚支援としてイラストで理解できるように配慮している。事業所が2階にある為バリアフリー化は不可であるがプレイルーム学習スペースはバリアフリーである。	7	2
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	子ども達の活動に合わせてパーテーションで仕切ったり、怪我がないように安心して活動に取り組めるように環境整備をおこなっている	9	
業務改善	⑤ 業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	計画・実行・評価・改善のサイクルで職員全員が参画できるようにさらに意識付けをおこなっていきたい	9	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様の意見を受け止めながらスタッフ間で話し合いこれからの改善に繋げていきたい	9	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価表を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	ホームページに掲載している	9	
	⑧ 第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか	フランチャイズの本社より評価あり、スタッフで話し合いながら業務改善に努めています	9	
	⑨ 職員の質の向上のために、研修の機会を確保しているか	頻度は少ないが研修予定を立て実施している	9	
適	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6か月に一度アセスメントをおこない、保護者の要望や子どもの成長や課題に合わせた個別支援計画を作成している	9	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化するされたアセスメントツールを使用しているか	チャイルドハートでのアセスメントシートを使用している	9	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家庭支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	個別支援計画書には児童発達支援ガイドラインの示す項目が適切に選択されその児童に合わせた必要な支援内容を立案している	9	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援をおこなっているか	支援内容に沿った支援が行われるように職員内で情報を共有している	9	

切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームでおこなっているか	隙間時間を活用しながらスタッフで話し合い作成している	9	
	⑮	活動プログラムが固定されないよう工夫しているか	立案時に話し合いをおこなっているが固定しがちではある	9	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	それぞれの特性に合わせて個別及び集団での活動を実地している	9	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝、その日の活動や役割分担について確認をおこなっている	8	1
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気づいた点などを共有しているか	支援の振り返りをおこなっている。伝えなければならない事があれば伝達ノートに記入し情報共有が出来るようにしている	9	
	⑲	日々に支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日々の記録をおこない利用児童委の様子はよくわかるのだが、こちらの具体的支援内容が見えにくい場面あるため課題である。	9	
	⑳	定期的にモニタリングをおこない、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6か月に1回モニタリングをおこない個別支援計画書の見直しをおこなっている。	9	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	児童発達支援管理責任者が出席している	9	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	関係機関と連携し支援している。保育所等訪問支援員より情報・助言をいただきながら支援の工夫や改善に努めている	8	1
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保険・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携体制を整えているか	該当せず		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	該当せず		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	情報共有を行い相互理解をはかっている	9	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	移行支援として情報提供をおこなっている	9	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	専門機関と連携をとり助言をいただいている	9	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園とうとの交流や、障害がない子どもと活動する機会があるか	保育園、幼稚園を併用している児童が多いため当事業所以外で交流あり。	4	5
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	児童発達支援管理責任者が出席している	7	2

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	情報共有をおこない相互理解をはかっている	9	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援をおこなっているか	ペアレントトレーニングに関する案内が通達されたときにはご案内をしている	7	2
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に丁寧に説明をさせていただいている	9	
	③⑬	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明をおこない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	保護者の要望やこどもの成長や課題に合わせた個別支援計画書を作成して説明をおこない同意を得ている	8	1
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	ご相談があればすべて対応しています。その場ですぐに適切な助言ができない場合には事業所として適当な回答を模索したうえで返答している	9	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今後の課題として検討していきたい	1	8
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	相談があった時には保護者の気持ちに寄り添ってお応えするようにしている	9	
	③⑰	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	チャイルドハートだより・イベント表・SNSなどで発信している。	9	
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分に注意しているか	個人情報が記載されている文書は鍵付きのロッカーで保管し、それら文書の廃棄にはシュレッターを使うなど、個人情報の取扱には注意している。毎日の活動の様子をカメラで撮影し写真を送っているが、本人のみならず他の子どもの姿も映りこむので、事前にそのことの承諾書も頂いて運用している。	9	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	事業所として積極的に相互コミュニケーションを取れるよう伝えやすい方法で伝えるようにしている	9	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	定期的にマニュアルの読み合わせを行っている。保護者には契約時に説明をおこなっている	8	1
	④②	非常火災の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	年間計画を立て実施している	9	

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作時の子どもの状況を確認しているか	事前に確認をおこなっている	9	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現在アレルギーに関する意思の指示書のある児童の利用はない	9	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事故防止リスク回避のためにも積極的に記入するように意識づけをおこなっていきたい	9	
	④⑥	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年間計画を立て実施している	9	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	緊急や燃えない場合に該当するときにはホールディング等をおこなうことを説明している	9	